



イノベーション・ジャパン 2022
～大学見本市&ビジネスマッチング～Online

「大学等シーズ展示」募集要項

5月10日（火）受付開始



より多くの大学等機関に産学マッチングの場を提供！ イノベーション・ジャパン～大学見本市 Online が変わります

オンライン開催 3 年目を迎え様々なご要望に応えるべく、イノベーション・ジャパン大学見本市は以下の変更を行います。

大学等シーズ展示の出展審査はなし & 1 大学あたりの出展数上限を設定

審査なし、先着順で展示課題決定 知財権等必須

今年度は出展審査を行いません。
出展条件は該当技術シーズが知的財産権取得済みまたは出願中であること、出展研究者が会期終了まで出展大学等機関に所属していることとします。

1 大学あたりの出展上限

出展上限
無し



1 大学あたり
15 シーズまで

1 大学あたりの出展上限を 15 シーズまでとし、可能な限り多くの大学等機関の出展を可能とします。

大学等シーズ展示の数が増えます

大学等シーズ展示数

400



500

可能な限り多くの大学等機関の研究者の皆様と参加企業との産学マッチングの場として継続するため、オンライン上での技術シーズ展示数を 400 から最大 500 程度に拡大します。

希望者全員プレゼン動画掲載可能！ 来場者の誘導も強化！

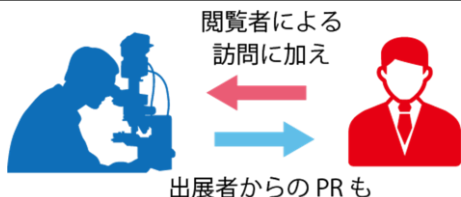
時間・数ともに固定枠のピッチプレゼン



全シーズのページ内に
常時視聴できるプレゼン
動画掲載可能

従来の研究者ピッチプレゼンに代えて、研究者自らが行うプレゼン動画（5 分以内）を各シーズの紹介ページにアップロードいただけます。動画のキーワード検索機能や動画一覧ページなどを新たに追加、来場者の各シーズページへの訪問を促します。

出展者から参加者へ PR ができます



カテゴライズされた参加者へシーズ閲覧の勧誘メールができるなど、いくつかの方法で出展者から参加者へ PR できます。オンライン貴名受けシステムを実装し技術シーズに興味のある参加者の情報が取得可能に！

出展分野名を変更 & SDGs 選択数増



時勢に合わせて一部分野を統合、名称変更しました。SDGs はこれまで 1 つだった関連マークを 3 つまで選択・表示可能とし、閲覧者の裾野を拡げます。

※内容は変更になる場合があります。

1. 開催概要

(1) 開催概要

イノベーション・ジャパン大学見本市とは、全国の大学等の技術シーズを一堂に集め、企業へ紹介し産学連携の推進、技術移転のきっかけとなる場を提供することで、産業活動の活性化を目指す産学連携マッチングイベントです。

大学等における研究シーズと産業界のニーズをマッチングさせるイベントとしては国内最大規模になります。

JST では本見本市を平成 16 年（2004 年）より開催しており、今年で 19 回目を迎えます。新型コロナウイルス感染症の影響により、2020 年からオンラインにて開催しています。

昨年のオンライン開催では、シーズ展示 400 件、来場登録者数は約 7,000 人となっています。これまでの調査の結果によると、過去の大学見本市出展者の約 38%が、共同研究開発、サンプル提供、技術指導、特許の実施契約などの「具体的成約」に至っており、産学連携におけるマッチングの場として有効性の高い見本市となっています。

- 1) 開催名称 イノベーション・ジャパン 2022～大学見本市&ビジネスマッチング～Online
- 2) 開催日程 2022 年 10 月 4 日（火）～10 月 31 日（月）
- 3) 主 催 国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）
 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）
- 4) 共催（予定）文部科学省、経済産業省
- 5) 閲 覧 料 無料(参加登録有り)
- 6) 出 展 料 無料
- 7) 出展分野 ◆ナノテクノロジー ◆装置・デバイス ◆情報通信 ◆医療
 ◆ライフサイエンス ◆マテリアル・リサイクル ◆防災
 ◆カーボンニュートラル（低炭素・エネルギーから名称変更）◆環境保全・浄化
 ※シニアライフ（高齢社会）は、ライフサイエンスに統合しました
- 8) スケジュール
 ・5月10日（火）：出展エントリー受付開始
 ⇒募集シーズ数は、500 シーズ。先着にて受付。詳しくは P3、募集概要と出展条件をご確認ください。
 ・7月下旬：出展課題の一覧リストを JST 内情報サイトで公開
 ⇒出展分野、所属機関（大学等）、学部、大学研究科名、名前／出展研究者名、展示タイトルを
 公開します
 ・8月初旬～：出展準備
 ・10月4日～10月31日：「イノベーション・ジャパン 2022～大学見本市&ビジネスマッチング～Online」
 にて公開

2. 大学等シーズ展示募集概要と出展条件

(1) 募集概要と出展条件

◆募集するシーズ数は500シーズ、5月10日（火）から先着にて受付します。

（4）出展エントリー方法を確認ください。

◆出展できるシーズは、技術移転を目指しており、知的財産権を取得済みもしくは出願中のシーズのみとなります。

出願番号、官公庁の公報など登録状況がわかるものを明示してください。

◆出展にあたっての審査はありません。出展条件を満たしているかのみ、JSTにて確認を行います。

◆1機関につき出展数の上限は15シーズまでとなります（原則）。

◆出展ブースにおいて、画像もしくは動画を2点以上、資料1点以上（パンフレット、シーズ集などは除く）のアップロードが必須となります。研究者が行うプレゼン動画は、出展ブースに動画として掲載ができます。

そのほか、つぎの出展条件をご確認ください。

- 1) 産学連携活動による研究成果・特許技術の技術移転を目指す大学等^(※)であること。
※「大学等」とは、大学、短期大学、高等専門学校、大学共同利用機関のことをさします。
- 2) 出展に際しては、出展研究者の所属する機関による産学連携マッチングへの支援・協力体制があることを前提とします。応募に際しては、あらかじめ所属機関から出展エントリーの了解が得られており、かつ出展の際には同機関における産学連携従事者等によるサポートが得られることが前提となります。
- 3) 出展研究者は、会期終了まで日本国内に居住し、かつ日本国内の大学等に所属（大学院生等の学生を除く）していること。
- 4) 一人の代表研究者が複数のエントリーを行なうことは不可とします。
- 5) エントリー情報は採否にかかわらずJST マッチングプランナーおよびイノベーション推進マネージャー等技術移転支援人材に共有させていただき、産学連携マッチングに向けた支援をさせていただく場合があります。また、出展エントリーをいただいた皆様には、JSTよりイベント・セミナー等の情報をご案内させていただく場合があります。
- 6) 出展確定後（＝出展採用発表後）のキャンセルは不可とします。
- 7) 会期終了後、1年後、2年後、3年後のマッチング調査に関する事後アンケートの回答に協力すること。
事後アンケートにご協力いただけない出展研究者及び出展機関については、以後の出展エントリーをお断りする場合がございます。
- 8) 個人情報の取扱いなどについては、JSTのプライバシーポリシー（<https://www.jst.go.jp/privacy.html>）に準じます。

(2) 出展エントリー受付開始について

5月10日（火） 出展エントリー受付開始

※募集シーズ数に達した段階で締めきらせていただきます。

※申込状況はJST事業ホームページ（<https://www.jst.go.jp/tt/fair/>）で適宜ご案内します。

(3) 出展の採用通知

出展の採用通知は7月下旬頃、出展課題の一覧リストをJST事業ホームページにて公開し、発表とさせていただきます。個別通知は行いませんのでご了承ください。出展確定後（＝出展採用発表後）のキャンセルはできません。出展に係わる詳細については、運営事務局より「**出展者マニュアル**」にてご案内します。

(4) 出展エントリー方法

「大学等シーズ展示 出展エントリーフォーム (2022年)」からの入力・登録制となります。
以下の手順に従い、エントリー手続きをお願いいたします。

出展シーズは各機関内にて研究者・研究課題を選定・調整のうえ、産学連携部署等の出展事務局担当者を窓口としてエントリーをお願いします。

【エントリー手順】

① JST 事業ホームページから「出展事務担当者」登録をしてください。

※以後、事務連絡については登録いただいた出展事務担当者宛に行います。

※ご登録いただいたアドレスへ「大学等シーズ展示 出展エントリーフォーム (2022年)」の URL を送信します。

※可能な限り、個人アドレスではなく業務用アドレスでのご登録をお願いします。

例：sanren-soumu@大学等のアドレス

※大学研究者毎に事務担当者が違う場合は同一校での複数人の出展事務担当者の登録を認めますが、この場合も可能な限り業務用アドレスでご登録ください。

JST 事業ホームページ URL : <https://www.jst.go.jp/tt/fair/>

② 「大学等シーズ展示 出展事務担当者登録フォーム (2022年)」内より、

「大学等シーズ展示 出展エントリー用下書き書式 (2022年)」をダウンロード

※下書き用書式は Excel です。出展エントリーフォーム入力に必要な内容を網羅しておりますので、下書きおよび出展研究者と事務担当者との情報共有としてご利用ください。

③ ご登録いただいた出展事務担当者のアドレスへ「大学等シーズ展示 出展エントリーフォーム (2022年)」の URL を送信します。

④ 「大学等シーズ展示 出展エントリーフォーム (2022年)」へアクセス、出展内容を入力後送信。

※シーズ 1 件につき 1 回送信してください。

※入力者は事務担当者、出展研究者のいずれでも可ですが、メールアドレスは「出展事務担当者」登録時のメールアドレスを記載ください。

※フォームの有効時間は 2 時間です。下書き用書式をご利用いただき、書式からのコピーペーストをお勧めします。

※誤送信や内容の誤記載があった場合は再送信可能ですが、再度全ての項目をご入力いただく必要があります。

「大学等シーズ展示 出展エントリーフォーム (2022年)」内に「再送信」のチェックボタンがあります。

※「大学等シーズ展示 出展エントリーフォーム (2022年)」記載内容については、公式サイトおよびガイドブック等に掲載可能な情報をお願いいたします。ガイドブックは、エントリー時に記載いただいた内容で作成します。

(5) 持続可能な開発目標 (SDGs) について

持続可能な開発目標 (SDGs) の 17 の目標の中から出展課題の内容に最も近いと思われるものを**三つ選択**して、「大学等シーズ展示 出展エントリーフォーム (2022 年)」 2 - (5) に入力してください (必須)。

2015 (H27) 年 9 月に国連で採択された「2030 年までに達成すべき持続可能な開発目標」(SDGs) は、これからの社会を考える際に重要な視点を与えるものであり、先端技術を取り込んでいく方法を世界に提示していく必要があります。

SDGs の達成に科学技術イノベーションが貢献(STI for SDGs)していくためには、政府はもとより、大学、研究開発機関、NGO や企業等を含めた様々なマルチステークホルダーが連携していくことが重要です。JST では、シンクタンク機能、研究開発、産学連携、次世代人材育成、科学コミュニケーション等多岐に亘る機能を活かしつつ、日本における SDGs の活動に積極的に貢献していきます。

JST は、昨年同様、SDGs 達成に向けた取り組みの一つとして位置づけました。今回も「大学等シーズ展示」の出展者の皆様に SDGs の 17 の目標の中から出展課題の内容に最も近いと思われるものを**三つ選択**していただく次第です。ご協力のほど宜しくお願いいたします。

※選択いただいた SDGs のロゴマークは、出展者情報ページに掲出されます。

※出展分野を改めて選択いただく趣旨ではございません。出展分野 (9 分野) と本件の SDGs は別件になります。

なお、展示ブースのエリア分けについては出展分野をもとに行います。

※本画面にて選択いただいた目標 (番号) については、出展者マイページ内で変更が可能です。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



JST の SDGs への取り組み紹介

<https://www.jst.go.jp/sdgs/>

(6) エントリーにあたっての注意事項

- 1) 本年は1機関15シーズの出展上限があります。15シーズを超えてエントリーいただいた場合、募集受付中かつ知財等の出展条件を満たしていても出展対象外となることがありますのでご注意ください。
- 2) 本年は先着の受付となります。出展事務担当者でとりまとめを行い、可能な限り複数シーズ一括での早めのエントリーをお勧めします。
- 3) 一括でのエントリーが難しい場合は、出展事務担当者より1シーズずつなど個別でのエントリーも可能です。ただし、全体数が出展500シーズに達し次第、エントリー締め切りとなります。
- 4) 出展研究者は、会期終了まで日本国内に居住し、かつ日本国内の大学等に所属（大学院生等の学生を除く）していることが必要です
- 5) エントリー申請時のメールアドレスは、申請する機関のメールアドレス（@以下が所属機関のアドレスであること）を使用下さい。フリーメールアドレスでは受け付けができませんのでご注意ください。また、フリーメールアドレス宛てには、受付事務局からのご連絡は行いません。
- 6) 「大学等シーズ展示 出展エントリーフォーム（2022年）」の記入、申請、及び問い合わせは日本語でお願いします。
- 7) 運営事務局又は主催者が記録、広報用の資料提供をお願いすることがありますのでご協力ください。

3. 参考

2021年度開催実績

イノベーション・ジャパン 2021～大学見本市 Online

会 期：2021年8月23日（月）～9月17日（金）

出展者数：大学等シーズ展示 400 件

出展機関数：123 機関

オンライン参加登録者数：7,043 名



「イノベーション・ジャパン 2021～大学見本市 Online」公式サイトから

4. 問い合わせ

国立研究開発法人科学技術振興機構

産学連携展開部 産学連携プロモーショングループ

「イノベーション・ジャパン 2022～大学見本市 Online」エントリー受付事務局

E-mail: entry@jst.go.jp

5. 資料 科研費審査区分一覧

「大学等シーズ展示 出展エントリフォーム（2022年）」4. 出展シーズのマッチング情報

入力の際の資料として活用ください。

大区分A	中区分1：思想、芸術およびその関連分野 01010 哲学および倫理学関連 01020 中国哲学、印度哲学および仏教学関連 01030 宗教学関連 01040 思想史関連 01050 美学および芸術論関連 01060 美術史関連 01070 芸術実践論関連 01080 科学社会学および科学技術史関連 90010 デザイン学関連 中区分2：文学、言語学およびその関連分野 02010 日本文学関連 02020 中国文学関連 02030 英文学および英語圏文学関連 02040 ヨーロッパ文学関連 02050 文学一般関連 02060 言語学関連 02070 日本語学関連 02080 英語学関連 02090 日本語教育関連 02100 外国語教育関連 90020 図書館情報学および人文社会情報学関連 中区分3：歴史学、考古学、博物館学およびその関連分野 03010 史学一般関連 03020 日本史関連 03030 アジア史およびアフリカ史関連 03040 ヨーロッパ史およびアメリカ史関連 03050 考古学関連 03060 文化財科学関連 03070 博物館学関連 中区分4：地理学、文化人類学、民俗学およびその関連分野 04010 地理学関連 04020 人文地理学関連 04030 文化人類学および民俗学関連 80010 地域研究関連 80020 観光学関連 80030 ジェンダー関連 中区分5：法学およびその関連分野 05010 基礎法学関連 05020 公法学関連 05030 国際法学関連 05040 社会法学関連 05050 刑事法学関連 05060 民事法学関連 05070 新領域法学関連 中区分6：政治学およびその関連分野 06010 政治学関連 06020 国際関係論関連 80010 地域研究関連 80030 ジェンダー関連 中区分7：経済学、経営学およびその関連分野 07010 理論経済学関連 07020 経済学説および経済思想関連 07030 経済統計関連 07040 経済政策関連 07050 公共経済および労働経済関連 07060 金融およびファイナンス関連 07070 経済史関連 07080 経営学関連 07090 商学関連 07100 会計学関連 80020 観光学関連	中区分8：社会学およびその関連分野 08010 社会学関連 08020 社会福祉学関連 08030 家政学および生活科学関連 80020 観光学関連 80030 ジェンダー関連 中区分9：教育学およびその関連分野 09010 教育学関連 09020 教育社会学関連 09030 子ども学および保育学関連 09040 教科教育学および初等中等教育学関連 09050 高等教育学関連 09060 特別支援教育関連 09070 教育工学関連 09080 科学教育関連 02090 日本語教育関連 02100 外国語教育関連 中区分10：心理学およびその関連分野 10010 社会心理学関連 10020 教育心理学関連 10030 臨床心理学関連 10040 実験心理学関連 90030 認知科学関連 大区分B 中区分11：代数学、幾何学およびその関連分野 11010 代数学関連 11020 幾何学関連 中区分12：解析学、応用数学およびその関連分野 12010 基礎解析学関連 12020 数理解析学関連 12030 数学基礎関連 12040 応用数学および統計数学関連 中区分13：物性物理学およびその関連分野 13010 数理解析学関連 13020 半導体、光物性および原子物理関連 13030 磁性、超伝導および強相関係関連 13040 生物物理、化学物理およびソフトマターの物理関連 中区分14：プラズマ学およびその関連分野 14010 プラズマ科学関連 14020 核融合学関連 14030 プラズマ応用科学関連 80040 量子ビーム科学関連 中区分15：素粒子、原子核、宇宙物理学およびその関連分野 80040 量子ビーム科学関連 15010 素粒子、原子核、宇宙線および宇宙物理に関連する理論 15020 素粒子、原子核、宇宙線および宇宙物理に関連する実験 中区分16：天文学およびその関連分野 16010 天文学関連 中区分17：地球惑星科学およびその関連分野 17010 宇宙惑星科学関連 17020 大気水圏科学関連 17030 地球人間圏科学関連 17040 固体地球科学関連 17050 地球生命科学関連 大区分C 中区分18：材料力学、生産工学、設計工学およびその関連分野 18010 材料力学および機械材料関連 18020 加工学および生産工学関連 18030 設計工学関連 18040 機械要素およびトライボロジー関連 中区分19：流体工学、熱工学およびその関連分野 19010 流体工学関連 19020 熱工学関連
------	--	--

大区分C	
中区分20：機械力学、ロボティクスおよびその関連分野	
20010	機械力学およびメカトロニクス関連
20020	ロボティクスおよび知能機械システム関連
中区分21：電気電子工学およびその関連分野	
21010	電力工学関連
21020	通信工学関連
21030	計測工学関連
21040	制御およびシステム工学関連
21050	電気電子材料工学関連
21060	電子デバイスおよび電子機器関連
中区分22：土木工学およびその関連分野	
22010	土木材料、施工および建設マネジメント関連
22020	構造工学および地震工学関連
22030	地盤工学関連
22040	水工学関連
22050	土木計画学および交通工学関連
22060	土木環境システム関連
中区分23：建築学およびその関連分野	
23010	建築構造および材料関連
23020	建築環境および建築設備関連
23030	建築計画および都市計画関連
23040	建築史および意匠関連
90010	デザイン学関連
中区分24：航空宇宙工学、船舶海洋工学およびその関連分野	
24010	航空宇宙工学関連
24020	船舶海洋工学関連
中区分25：社会システム工学、安全工学、防災工学およびその関連分野	
25010	社会システム工学関連
25020	安全工学関連
25030	防災工学関連
大区分D	
中区分26：材料工学およびその関連分野	
26010	金属材料物性関連
26020	無機材料および物性関連
26030	複合材料および界面関連
26040	構造材料および機能材料関連
26050	材料加工および組織制御関連
26060	金属生産および資源生産関連
中区分27：化学工学およびその関連分野	
27010	移動現象および単位操作関連
27020	反応工学およびプロセスシステム工学関連
27030	触媒プロセスおよび資源化学プロセス関連
27040	バイオ機能応用およびバイオプロセス工学関連
中区分28：ナノマイクロ科学およびその関連分野	
28010	ナノ構造化学関連
28020	ナノ構造物理関連
28030	ナノ材料科学関連
28040	ナノバイオサイエンス関連
28050	ナノマイクロシステム関連
中区分29：応用物理物性およびその関連分野	
29010	応用物性関連
29020	薄膜および表面界面物性関連
29030	応用物理一般関連
中区分30：応用物理学およびその関連分野	
30010	結晶工学関連
30020	光工学および量子科学関連
中区分31：原子力工学、地球資源工学、エネルギー学およびその関連分野	
31010	原子力工学関連
31020	地球資源工学およびエネルギー学関連
中区分90：人間工学およびその関連分野	
90110	生体医学工学関連
90120	生体材料学関連
90130	医用システム関連
90140	医療技術評価学関連
90150	医療福祉工学関連
大区分E	
中区分32：物理化学、機能物性化学およびその関連分野	
32010	基礎物理化学関連
32020	機能物性化学関連
中区分33：有機化学およびその関連分野	
33010	構造有機化学および物理有機化学関連
33020	有機合成化学関連
中区分34：無機・錯体化学、分析化学およびその関連分野	
34010	無機・錯体化学関連
34020	分析化学関連
34030	グリーンサステイナブルケミストリーおよび環境化学関連

中区分35：高分子、有機材料およびその関連分野	
35010	高分子化学関連
35020	高分子材料関連
35030	有機機能材料関連
中区分36：無機材料化学、エネルギー関連化学およびその関連分野	
36010	無機物質および無機材料化学関連
36020	エネルギー関連化学
中区分37：生体分子化学およびその関連分野	
37010	生体関連化学
37020	生物分子化学関連
37030	ケミカルバイオロジー関連
大区分F	
中区分38：農芸化学およびその関連分野	
38010	植物栄養学および土壌学関連
38020	応用微生物学関連
38030	応用生物化学関連
38040	生物有機化学関連
38050	食品科学関連
38060	応用分子細胞生物学関連
中区分39：生産環境農学およびその関連分野	
39010	遺伝育種科学関連
39020	作物生産科学関連
39030	園芸科学関連
39040	植物保護科学関連
39050	昆虫科学関連
39060	生物資源保全学関連
39070	ランドスケープ科学関連
中区分40：森林園科学、水圏応用科学およびその関連分野	
40010	森林科学関連
40020	木質科学関連
40030	水圏生産科学関連
40040	水圏生命科学関連
中区分41：社会経済農学、農業工学およびその関連分野	
41010	食料農業経済関連
41020	農業社会構造関連
41030	地域環境工学および農村計画学関連
41040	農業環境工学および農業情報工学関連
41050	環境農学関連
中区分42：獣医学、畜産学およびその関連分野	
42010	動物生産科学関連
42020	獣医学関連
42030	動物生命科学関連
42040	実験動物学関連
大区分G	
中区分43：分子レベルから細胞レベルの生物学およびその関連分野	
43010	分子生物学関連
43020	構造生物化学関連
43030	機能生物化学関連
43040	生物物理学関連
43050	ゲノム生物学関連
43060	システムゲノム科学関連
中区分44：細胞レベルから個体レベルの生物学およびその関連分野	
44010	細胞生物学関連
44020	発生生物学関連
44030	植物分子および生理科学関連
44040	形態および構造関連
44050	動物生理化学、生理学および行動学関連
中区分45：個体レベルから集団レベルの生物学と人類学およびその関連分野	
45010	遺伝学関連
45020	進化生物学関連
45030	多様性生物学および分類学関連
45040	生態学および環境学関連
45050	自然人類学関連
45060	応用人類学関連
中区分46：神経科学およびその関連分野	
46010	神経科学一般関連
46020	神経形態学関連
46030	神経機能学関連
大区分H	
中区分47：薬学およびその関連分野	
47010	薬系化学および創薬科学関連
47020	薬系分析および物理化学関連
47030	薬系衛生および生物化学関連
47040	薬理学関連
47050	環境および天然医薬資源学関連
47060	医療薬学関連

大区分H	
中区分48：生体の構造と機能およびその関連分野	
48010	解剖学関連
48020	生理学関連
48030	薬理学関連
48040	医学化学関連
中区分49：病理病態学、感染・免疫学およびその関連分野	
49010	病態医学化学関連
49020	人体病理学関連
49030	実験病理学関連
49040	寄生虫学関連
49050	細菌学関連
49060	ウイルス学関連
49070	免疫学関連
大区分I	
中区分50：腫瘍学およびその関連分野	
50010	腫瘍生物学関連
50020	腫瘍診断および治療学関連
中区分51：ブレインサイエンスおよびその関連分野	
51010	基盤脳科学関連
51020	認知脳科学関連
51030	病態神経科学関連
中区分52：内科学一般およびその関連分野	
52010	内科学一般関連
52020	神経内科学関連
52030	精神神経科学関連
52040	放射線科学関連
52050	胎児医学および小児成育学関連
中区分53：器官システム内科学およびその関連分野	
53010	消化器内科学関連
53020	循環器内科学関連
53030	呼吸器内科学関連
53040	腎臓内科学関連
53050	皮膚科学関連
中区分54：生体情報内科学およびその関連分野	
54010	血液および腫瘍内科学関連
54020	膠原病およびアレルギー内科学関連
54030	感染症内科学関連
54040	代謝および内分泌学関連
中区分55：恒常性維持器官の外科学およびその関連分野	
55010	外科学一般および小児外科学関連
55020	消化器外科学関連
55030	心血管外科学関連
55040	呼吸器外科学関連
55050	麻酔科学関連
55060	救急医学関連
中区分56：生体機能および感覚に関する外科学およびその関連分野	
56010	脳神経外科学関連
56020	整形外科関連
56030	泌尿器科学関連
56040	産婦人科学関連
56050	耳鼻咽喉科学関連
56060	眼科学関連
56070	形成外科学関連
中区分57：口腔科学およびその関連分野	
57010	常態系口腔科学関連
57020	病態系口腔科学関連
57030	保存治療系歯学関連
57040	口腔再生医学および歯科医用工学関連
57050	補綴系歯学関連
57060	外科系歯学関連
57070	成長および発育系歯学関連
57080	社会系歯学関連
中区分58：社会医学、看護学およびその関連分野	
58010	医療管理学および医療系社会学関連
58020	衛生学および公衆衛生学分野関連：実験系を含む
58030	衛生学および公衆衛生学分野関連：実験系を含まない
58040	法医学関連
58050	基礎看護学関連
58060	臨床看護学関連
58070	生涯発達看護学関連
58080	高齢者看護学および地域看護学関連
中区分59：スポーツ科学、体育、健康科学およびその関連分野	
59010	リハビリテーション科学関連
59020	スポーツ科学関連
59030	体育および身体教育学関連
59040	栄養学および健康科学関連

中区分90：人間工学およびその関連分野	
90110	生体医学工学関連
90120	生体材料学関連
90130	医用システム関連
90140	医療技術評価学関連
90150	医療福祉工学関連
大区分J	
中区分60：情報科学、情報工学およびその関連分野	
60010	情報学基礎論関連
60020	数理情報学関連
60030	統計科学関連
60040	計算機システム関連
60050	ソフトウェア関連
60060	情報ネットワーク関連
60070	情報セキュリティ関連
60080	データベース関連
60090	高性能計算関連
60100	計算科学関連
中区分61：人間情報学およびその関連分野	
61010	知覚情報処理関連
61020	ヒューマンインタフェースおよびインタラクション関連
61030	知能情報学関連
61040	ソフトコンピューティング関連
61050	知能ロボティクス関連
61060	感性情報学関連
90010	デザイン学関連
90030	認知科学関連
中区分62：応用情報学およびその関連分野	
62010	生命、健康および医療情報学関連
62020	ウェブ情報学およびサービス情報学関連
62030	学習支援システム関連
62040	エンタテインメントおよびゲーム情報学関連
90020	図書館情報学および人文社会情報学関連
大区分K	
中区分63：環境解析評価およびその関連分野	
63010	環境動態解析関連
63020	放射線影響関連
63030	化学物質影響関連
63040	環境影響評価関連
中区分64：環境保全対策およびその関連分野	
64010	環境負荷およびリスク評価管理関連
64020	環境負荷低減技術および保全修復技術関連
64030	環境材料およびリサイクル技術関連
64040	自然共生システム関連
64050	循環型社会システム関連
64060	環境政策および環境配慮型社会関連